

将来の夢

精道三川台小学校 三年 久原 轟大

多くの夢は、プロ棋士になることです。小学校に入学してアフタースクールがきっかけではじめました。いごをはじめた時は白と黒でオセロみたいでちっとも楽しくなかったけどやっけていくうちにももしろさが分かってきました。週一で習いだしたいいごも3年で初だんにまでなれました。級が上がっていくことにいごをもっとやりたいと思うようになったし、学校いがいでもレッスンに通い、学校の宿題がおわってからも、いごのアプリで打ちこんでいます。いごはかつとうれしいけど、負けるるとくやしい。かてば次に次に進んでやるけど負けるとショックで立ち直るのに時間がかかってしまいました。ほくはいつも大会の前は楽しみにしています。どんな人と打つのかとか考え、どういう流れに持っていこうか作戦を立てるからです。いごを打つ時のあいさつも大すぎです。おねがいします。おわればありがとうございます。それ以外

は話すことはないけど、打つ時の相手の目のやり方でほくなりやすいと打つ。最近では高れい者の人と打つことが多い。子どもと対戦もいいけど高れい者と打つ時は、先手をよんで打たないとすぐ負けてしまう。いごは最後まで計算しないと打ち分けられないし、自分でよく打てたと思う碁はまだ打てない。ほくの夢、それはお友だちに笑われるかもしれないけど、かわらない。まだ3年、これからもっともつと練習して上へ上へ、2だん、3だん、そして門下生になりプロになる。

早いうちに目ひようを決めたことでほくは自分が今何をしたらいいのか少しづつ考えができるようになってきている。そのため教室に通ったり家ぞくのサポートが必ようだ。うちのパパはゲームより何より楽しいと思えるものをみつけたらとことんやれと口ぐせのように言う。ほくは見つけた。いごでプロになること。これからもたくさん練習して強くなる。

久原 轟大 のライフプラン

将来なにになりたいか? プロ棋士

その理由: "いご"を打つことが"好きだから"

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	9(小3)	週4のレッスン 初だん	習事月謝
2022年	10	県代表になる!!	〃
2023年	11	↓	〃
2024年	12(小6)	↓ 3段合格	〃
2025年	13(中1)	いごの強い学校受けん	授業料
2026年	14	↓	↓
2027年	15(中3)	↓ 4だん	↓
2028年	16(高1)	日本棋院 院生合格	↓
2029年	17	↓	↓
2030年	18(高3)	↓ 5だん	↓
2031年	19(大1)	東大いご部入	↓
2032年	20 2	↓	↓
2033年	21 3	↓	↓
2034年	22	↓	↓
2035年	23	→プロへ	
2036年	24		
2072年	60才	プロ引退 いご教室作る。	

※最後の行は、荷歳の時になんになっていたか、自分で好きな年を入れてみましょう!